

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
7	たてやま 清 隆	日 本 共 産 党		

発言の要旨

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 女性天皇への道を閉ざした皇室典範「改定」への見解
- 2 国保行政について
 - (1) 県の国保財政安定化基金の活用について
 - ① 県による見直しの内容と動向
 - ② 同基金の活用に関する本市の県への要請内容
 - ③ 県の「仮算定」に向けた今後のスケジュール
 - (2) 保険料（税）水準の統一に向けた令和9年度からの二次医療圏ごとの統一について
 - ① 鹿児島医療圏の各自治体の被保険者数、医療費指数
 - ② 医療費の格差が国保事業費納付金に及ぼす影響
 - ③ 本市の「1人当たり納付金」は相対的に高くないか
 - (3) 県内他市と共同で「基金」の大幅な活用を県に要請すべき、市長の見解
- 3 第10期鹿児島市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画及び認知症オレンジシティかごしま推進計画について
 - (1) 介護の「2025年問題」に対する本市と国の総括
 - (2) 介護の「2040年問題」に対する国の方針と本市の対応
 - (3) 国で検討されている介護保険制度の見直しの内容と本市の第10期計画への影響について
 - ① 保険給付費の見直し（要介護1・2の介護サービスの見直し、利用者の自己負担割合の拡大、ケアプランの有料化）
 - ② 特定地域（中山間・人口減少地域）の創設、月当たり定額報酬の導入及び人員配置基準の緩和
 - (4) 介護給付費準備基金と第10期第1号被保険者保険料について
 - ① 第10期計画の保険給付費に占める第1号被保険者の負担割合
 - ② 介護給付費準備基金残高及び同残高を第1号被保険者数で除した額（令和7年度末）
 - ③ 当初予算に対する第1号被保険者数の増加と保険給付費の不用額が同基金の増加の原因か
 - ④ 同基金を取り崩して、第10期第1号被保険者保険料を引き下げることが可能ではないか
 - (5) 介護の危機を打開するために、国庫負担の割合を10%引上げ「公費60%、保険料40%」とし、公的助成による介護職員の賃上げと介護報酬の底上げで、介護事業所の経営継続を支援すべき
- 4 鹿児島市新松元学校給食センター整備・運営事業について
 - (1) PFI導入の理由
 - (2) 同センターの学校給食の提供体制について
 - ① 配送対象となる学校数と児童生徒数、そのうち、自校方式の学校数と児童生徒数
 - ② 配送対象となる学校で食物アレルギーの対応が必要な対象児童生徒数及び同センターの対応能力
 - ③ 各学校への運搬体制と到着時間及び自校方式の配食までの比較
 - (3) 従前の「センター方式及び自校方式」とPFI方式の優位性は何か

5 学校規模適正化等について

(1) 喜入地域学校規模適正化等推進事業について

- ①「PTAの8割は、喜入小との統合を希望」とあるが「2割」の声は何か
- ②喜入小との統合後も存続が求められている児童クラブへの対応
- ③平成30年度以降、「地域の活性化対策」は図られてきたのか
- ④両校区では、喜入小との統合について地域の合意形成が十分図られているとの認識か

(2) 皇徳寺校区の学校規模適正化等について

- ①宮川小（小規模校）の説明会の参加者と内容及び出された意見等
- ②皇徳寺小（適正規模校）の説明会の内容及び出された意見等及び同校の学級数・児童数の見込み
- ③「小規模校」の「よりよい教育環境づくり」について
 - ア.「3つのメリット」の内容
 - イ. メリットを生かした教育実践や地域連携の取組状況
- ④宮川小校区の公営住宅の現状と課題について
 - ア. 市営住宅、県営住宅の空き住戸数と子育て世帯の入居状況
 - イ. 公営住宅への子育て世帯の入居の促進を図る施策の必要性

(3) 「小規模校」の地域にも「若者から選ばれるまちづくり」の具現化を、市長の見解

6 高齢者福祉バス運行事業について

- (1)同事業の目的と、いぬまき号（27人）、つわぶき号（24人）の稼働年数と廃止理由、廃止に対する市民の声及び「ゆうかり号（45人）」の稼働年数
- (2)貸切バス借上料の一部を助成する補助制度の内容及び周知方法
- (3)国の一般貸切旅客自動車（大型）の公示運賃と市営バスの条例額の推移（平成26年度、令和5年度、7年度）とその増加要因
- (4)高齢者団体・グループの市営バスの貸切バスの利用実績（7年度の件数、料金、利用人数）
- (5)7年12月から廃止された「いぬまき号」の影響について
 - ①「いぬまき号」の6年度と7年度の実績比較（利用団体、利用人数、運行管理費）
 - ②6年度と7年度の全体実績の比較（利用団体、利用人数、運行管理費）
 - ③貸切バス借上料補助の7年度の実績（利用団体、利用人数、補助件数、借上料合計と1台平均）
- (6)高齢者福祉バスを存続し、かつ借上料の補助金の増額を図るべき

7 安心安全なまちづくりについて

(1) 市道本城大久保線について

- ①令和8年度の予算措置の内容
- ②今後の事業計画

(2) 市道一倉小田代線道路改良工事について

- ①8年度の予算措置の内容
- ②今後の事業計画